

県政の動き

8月10日(日)～10月11日(土)

8月10日(日)

★道路愛護に係る大臣表彰および知事表彰

8月12日(火)

★UIターンフェア「かごしま」& 県内就職合同面接会

8月17日(日)

★家族で行こう！防災・お天気フェア2014

8月18日(月)

★県エイズ対策連絡協議会

8月25日(月)

★奄美子育て普及シンポジウム

8月29日(金)～31日(日)

★大分・鹿児島キャンベーンキックオフイベント

8月31日(日)

★脳卒中予防フォーラム

9月4日(木)

★鹿児島県くらし安全安心県民大会

9月5日(金)

★離島防災訓練(屋久島)

9月6日(土)～27日(土)

★かごしま黒グルメフェスタ

9月6日(土)～7日(日)

★鹿児島・奄美うまいもんフェア

9月10日(水)

★自殺予防街頭キャンペーン

9月11日(木)

★元気生き生き長寿者訪問

9月11日(木)

★ドクターヘリ補完の救急患者搬送に関する協定

9月21日(日)

★世界アルツハイマーに係る街頭活動

10月1日(水)

★ピンクリボンツリー設置セレモニー

10月4日(土)～8日(水)

★ドイツにおける「黒糖焼酎及び鹿児島和牛プロモーション」に係る知事トップセールス

★は写真入りで紹介

8月10日(日)

道路愛護に係る大臣表彰および知事表彰



8月10日の「道の日」、8月の「道路ふれあい月間」に伴い、道路愛護に係る大臣表彰および知事表彰が行われた。

表彰は、長年道路の美化清掃に努め、功績のあった民間の団体や個人を表彰し、感謝の意を表すもので、今年は大分表彰を1団体2個人、知事表彰においては5団体3個人が受賞した。

また、期間中は、道路を常にきれいで安全に利用する道路愛護意識の普及を目的とした美化活動が行われた。

県では、道路美化活動を行う団体を支援する「ふるさとの道サポート推進事業」などを通じ、今後も道路愛護意識の普及に努めていく。

8月12日(火)

UIターンフェア“かごしま” & 県内就職合同面接会



県では、8月12日に「UIターンフェア「かごしま」& 県内就職合同面接会」を開催した。

この面接会は、毎年開催する県内最大級の就職面接会で、県外からのUIターン希望者や県内の求職者の就職促進を図り、県内企業の人材を確保することを目的としている。

当日は、県内企業89社の採用担当者と293人の求職者が参加し、熱心に面接などが行われた。

県では、面接会のほかに、UIターン希望者へ無料で職業紹介を行う「ふるさと人材相談室」を、県庁雇用労政課と東京・大阪事務所に常設している。

家族で行こう!防災・お天気フェア2014へ



鹿児島地方気象台などの共催で、始良市にある県防災研修センターにおいて「防災・お天気フェア2014」を開催し、昨年を上回る約750人の来場者があった。長崎大水害で記録した1時間187ミリの降雨体験や消防車への体験試乗、鹿児島地方気象台による、竜巻や雨粒を発生させる気象実験や火山・天気についての防災教室などがあり、参加した子どもたちは楽しみながら、防災の知識を深めていた。

大分・鹿児島キャンペーンキックオフイベント



10月から来年の3月まで展開する「決めなきゃ、ダメ?大分 vs 鹿児島」に先駆けて、博多駅前広場で両県の観光PRイベントを開催した。伊藤知事によるトップセールスでは、食、歴史、焼酎などの「本物」に思いを込めた本県の魅力を紹介した。また、キャンペーンキャラクター壇蜜さんのトークショーや、さつまあげ、黒豚の特設販売などの催しに約4万5千人が訪れ大盛況だった。JR九州では、特設ホームページを開設し、月毎のテーマで対決するWEB投票も開始した。本県観光の振興に大きく寄与するものと期待される。



「決めなきゃ、ダメ?大分 vs 鹿児島」キャンペーンサイトへのQRコード

鹿児島県くらし安全・安心県民大会



防犯や交通安全、犯罪被害者に対する支援についての意識を高め、県民総ぐるみで犯罪や交通事故を未然に防止し、犯罪被害者を思いやるまちづくりの実現を図ることを目的とした「県くらし安全・安心県民大会」を開催した。大会では、防犯および交通安全功労者・団体の表彰、安全安心まちづくり講話、犯罪被害者の手記朗読のほか、鹿児島市立大龍小学校児童による「くらし安全・安心宣言」が行われた。また、大会終了後、関係団体による「防犯および交通安全街頭パトロール」を実施した。

かごしま黒グルメフェスタ



期間中、会場では、「本物。鹿児島」の魅力ある素材を堪能する多くの来場者で賑わった。



黒豚、黒牛、黒さつま鶏をはじめ黒マグロ、黒酢、黒糖など。鹿児島県にあふれる多くの黒食材を県内外にPRするため、9月6日を「フクロの日」と称し、「かごしま黒グルメフェスタ」が同日から27日まで、鹿児島島の玄関口にある「かごつまふるさと屋台村」において開催された。

各店舗では、このイベントに向けて開発した黒食材を生かした新メニューが振る舞われたほか、開催初日には、大島紬の試着体験をはじめ、大島紬クイーンのおもてなしや黒糖焼酎の試飲・販売が行われた。

元気生き生き長寿者訪問



懸念頑張ります」とお礼を述べた。



9月15日の「老人の日」を前に、鹿児島市在住の前田愛祐さん（100歳）を伊藤知事が訪問し、長寿を祝った。

長年、洋裁の仕事が続けてきた前田さんは、仕事を辞めた後も趣味で手芸品を作ったり、今でも自分で着る服は自分でコーディネートするなどおしゃやれを楽しんでいる。

知事は、「ますます長生きをして、元気で過ごしてください」と激励した。

前田さんは、「長生きの秘訣は、欲を持たないこと。これからも家族に助けをもらいながら、楽しく一生懸命頑張ります」と

ピンクリボンツリー設置セレモニー



頭キャンペーンなどの各種イベントを通じて、乳がんの早期発見・早期治療の普及啓発を行った。



県では、「ピンクリボン月間」の初日である10月1日に県庁行政庁舎1階ロビーにおいて、ピンクリボンツリーの設置セレモニーを実施した。

この日は、伊藤知事や各関係団体の代表者らが、ピンクリボンツリーの飾りつけを行い、月1回の自己検診の実施やマンモグラフィ検査の定期的な受診など、乳がん検診の大切さを呼びかけた。

また、期間中は、県内各地でピンクリボンツリーが設置され、建物などがピンク色にライトアップされたほか、ピンクリボン街頭キャンペーンなど

の各種イベントを通

じて、乳がんの早期

発見・早期治療の普

及啓発を行った。